

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙

FUTABANOWA

ふたばのわ

Vol.142
2025.8.15



～みんなで双葉郡を盛り上げる日～

第一回双葉郡大運動会 P.2

盆栽界最高峰「国風盆栽展」に初入選！ P.3

双葉町結ぶ会 交流会

第17回浜通り手ほどき腎臓病を考える会 P.4

今月の表紙

今月の表紙は、双葉町産業交流センターで開催された「双葉町結ぶ会 交流会」の参加者の方です。

会場内では、皆さんの楽しそうな笑顔が見受けられました。大人や、こども関係なく親睦を深める姿が特に印象的でした。



～みんなで双葉郡を盛り上げる日～ 第一回双葉郡大運動会



リレー競技

6月14日、第二回双葉郡大運動会がJヴィレッジの全天候型練習場にて開催されました。キャッチコピーは「みんなで双葉郡を盛り上げる日」。当日は、双葉郡内8町村から約220人の参加者が集まり、地域を超えた交流を目的に開催されました。

開会式では代表選手による力強い選手宣誓が行われ、ラジオ体操で体をほぐした後、参加者は4つのチームに分かれて競技に臨みました。障害物競走や綱



追いかけて玉入れ

引きなど全6種目が実施され、なかでも大きな盛り上がりを見せたのはチーム全員で挑んだリレー競技。応援の音が響くなか、チームでバトンをつなぐ姿に一体感が生まれました。

閉会式では、大声でチームを盛り上げた皆さんの参加者と交流した方にMVP賞が贈られ、大きな拍手に包まれました。

最後に主催者からの挨拶では「たくさんの方に参加いただきありがとうございます」との言葉で閉会となりました。



実行委員 中谷 祥久さん

― 本日開催の第二回双葉郡大運動会に参加されていかがですか

今年のプレ大会で、私達のチームは優勝することができませんでした。

今回の第二回双葉郡大運動会では、二位になることができ、とても嬉しかったです。

― 今回参加した第一回双葉郡大運動会を伝統的な行事にしていきたいですか

私も誘っていただき参加しましたが、今回若い方が数多くいらしていたので、そうした方たちにとってこの素晴らしい行事を続けていただき、親、子供、孫と繋いでいってほしいです。

盆栽界最高峰

「国風盆栽展」に初入選!

毎年東京で開催される「国風盆栽展」は、盆栽界における最高峰の舞台。日本国内はもちろん、世界中の愛好家が憧れるこの舞台にこの度、双葉町出身の竹林新一さんの作品のイワシデという樹種が初出展で見事入選しました(本項中央)。偶然見かけた「ある展覧会」により盆栽の世界へと足を踏み入れた竹林さん。

今回、入選の喜びと盆栽への深い思い、そして盆栽を始めることになったきっかけについてお話を伺いました。



ご自宅で育てている数々の盆栽



Q. 今回の国風盆栽展入選を受けて、どのような思いがありますか?

A. 盆栽教室の先生や盆栽仲間など、たくさんの方にお世話になり、今回の入選を果たすことができたので、本当に良かったなと思っています。

Q. 竹林さんは6年前から盆栽を始めたそうですが、きっかけはありますか?

A. 私事により趣味であったゴルフができなくなった時、偶然見たさいたまスーパーアリーナでの「世界盆栽展」がきっかけです。

盆栽の美しさに感動し、自分でも育てようとなりました。

Q. 竹林さんにとっての盆栽とは?

A. 私にとって盆栽は、盆栽の長い人生の二部分をお借りすることだと思っています。自分の所有物という感覚はまったくなく、盆栽の何百年のうちの人生の、ほんの二瞬を自分が預かるものだと思っています。



竹林新一さん

Q. 最後に、今後はどのような盆栽を育てたいですか?

A. なるべく好き嫌いなく育てたいと思っています。今後は五葉松といった樹種などを育てて行きたいです。



双葉町結ぶ会 交流会

6月29日双葉町産業交流センターにて、双葉町結ぶ会主催による交流会が開かれました。

30人以上が参加。会場では老若男女楽しめる遊びの他、ミシンの操作やドローンの操縦が体験できました。

会場からは、仲良く遊ぶ来場者の方々の笑顔が見られ、賑やかな会となりました。



第17回浜通り 手ほどき腎臓病を考える会

「慢性腎臓病、その進行抑制ためにはどうしたらよいか」を学ぶ会です。
経験豊富な腎臓専門医の講演と、栄養士の話や、長年食事療法を行った患者さんの体験談も予定しています。
腎臓病等でお悩みの方はぜひご参加ください。

日	時	9月28日(日)9時20分～15時30分
場	所	相馬市総合福祉センター はまなす館 大ホール
持 参 物		昼食、健診結果、病院の採血結果、お薬手帳等
参 加 費 用		500円
申 込 期 限		8月31日(日)
申 込 先 ・ 問 合 せ		事務局:江井 章 電 話:0244(35)5218/FAX:0244(36)4072 Eメールアドレス:rlwx5214@yahoo.co.jp

町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

